

平成18年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,054	5,054	0	
施設整備費補助金	660	671	11	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	0	18	18	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27	27	0	
自己収入	2,382	2,409	27	
授業料、入学金及び検定料収入	2,338	2,349	11	(注3)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	44	60	16	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	686	797	111	(注5)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	306	0	306	(注6)
計	9,115	8,976	139	
支出				
業務費	6,186	5,450	736	
教育研究経費	6,186	5,450	736	(注7)
診療経費	-	-	-	
一般管理費	1,556	1,470	86	(注8)
施設整備費	687	698	11	(注9)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	0	18	18	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	686	786	100	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	9,115	8,422	693	
収入 - 支出	0	554	554	

予算と決算の差異について

- (注1)平成17年度補正予算の繰越額を誤って計上したこと及び平成18年度補正予算により耐震事業対策経費が交付されたことに伴い、決算額が11百万円多額となっています。
- (注2)大学改革推進等補助金が交付されたことに伴い、18百万円多額となっています。
- (注3)当初の予定より主として学部学生と博士前期課程学生の入学者が多かったことに伴い、予算額に比して決算額が11百万円多額となっています。
- (注4)ショウジョウバエの分譲、特許権の譲渡、科学技術振興機構による特許出願支援等が当初の予定より多かったこと等により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注5)外部資金獲得の取組みの結果、予算額に比して決算額が111百万円多額となっています。
- (注6)当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更により、目的積立金の取崩が不要となったため、予算額に比して決算額が306百万円少額となっています。
- (注7)(注6)に示した理由、教員の退職者が当初の予定より少なかったこと及び業務実施にあたり経費の節減に努めたこと等により、予算金額に比して決算額が736百万円少額となっています。
- (注8)(注6)に示した理由及び業務実施にあたり経費の節減に努めたこと等により、予算金額に比して決算額が86百万円少額となっています。
- (注9)(注1)に示した理由により、予算金額に比して11百万円多額となっています。
- (注10)(注2)に示した理由等により予算金額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注11)(注5)に示した理由等により予算金額に比して決算額が100百万円多額となっています。